

人懐っこさを大切にして

梅雨入りしたものの、それほど雨が続いていませんので、子供たちは休み時間のたびに、運動場に出て、元気に走り回っています。(ちなみに、私の生まれ育った名古屋では、授業と授業の間の時間をすべて“放課〔ほうか〕”と言っていました。20分放課とか、昼放課とか。そのため「放課後」という言葉は、神戸に来てから知りました。名古屋で「放課後」は「授業後」といいます。) 第1回目の全校朝会で、総合遊具をはじめとする遊具やボールも使用できるようになりましたので、子供たちの遊びの幅もずいぶん広がりました。

そんな中、休み時間に運動場の様子を見てみると、「校長先生、一緒に鬼ごっこしよ!」「バスケしよ!」「バレーボールしよ!」「フラフープするから見てて!」などなど、次から次に、遊びに誘いに来てくれます。本当にみんなかわいい限りです。体はひとつしかありませんので、少しずつですが、一緒に楽しい時間を過ごさせてもらっています。

私は、幼い時からどちらかというと「人見知り」する方で、積極的に自ら声をかけに行くことが苦手でした。声をかけたいけれど、勇気を出すのに時間がかかるタイプです。わかみやっ子の中にも、私と同じタイプの子供もいると思いますが、多くの子供は人懐っこく、自分から積極的に声をかけることを普通にできるように感じます。



この積極性は、今の学校の目指す「主体的・対話的で深い学び」の中でもとても重要な要素の一つではないかと思います。一昔前とは違い、これからはグローバル〔世界的規模〕な社会で生きていくことになるであろう子供たちですので、ぜひ人懐っこさを大切にし、自分の思いを自己発信できる力を高めていって欲しいと思います。合わせて、自己主張だけでなく、人の話・思いを聞き、それを含めて「優しい判断のできる人であれ」と思っています。

短い期間でしたが、いい1学期のしめくくりができるよう取り組んでまいります。

校長 濱田 忍